

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227  
 事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796  
 編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348  
 HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和6年10月(2024年) No.706

### 第64回 OMC 映像フェスティバル

## まずまずの盛況で無事終了

第64回 OMC 映像フェスティバルは、去る10月6日(日曜日)13時30分より、近鉄布施駅前にあるヴェル・ノール布施5階夢広場多目的ホールにて開催されました。毎年この発表会は大阪府中央区の市立中央会館ホールで行っていましたが、長堀橋駅から地上に上がるのにエレベーターも、エスカレーターも無く、高齢来場者の不満を聞いていたので、思い切って大阪市内から離れますが、駅前でエレベーターも使える布施の新会場へと場所を変更しました。結果的には昨年と同じ90名(内新規10名)の来場者があり、まずまずの盛会裡に無事終了しました。お世話頂いた岡本副会長以下、会員皆様に厚くお礼申し上げます。作品内容の評価もよく、会場を変えて良かったと思っています。(会長)

祝電頂いた方々

- ・金子喜代子様；映像神奈川会長・竹田幸男様；寝屋川市映像協会会長並びに会員一同様、中嶋 哲様；京都映像連盟会長、吉岡博行様；(株)吉岡映像



### 10月例会のご案内

- 第3土曜日19日13時開場(一週間早いのでご注意ください)  
 担当世話役の方、特に上映担当者は早めにお越しください。  
 秋らしくなった頃です、二次会も含めて楽しいひと時を

## 第 57 回東京アマチュア映像祭

### 全国ビデオ映像コンテスト受賞作品

### 大阪発表会の期日が選挙の影響で延期

大阪で初めての全国ビデオ映像コンテスト受賞作品の発表会を、当初 10 月 18 日(金)に布施で実施すべく、プログラムも既に各方面に発送していたのですが、急に衆議院が解散・総選挙が決まり、会場が期日前投票の場所と化し、使えなくなりました。急なことで対応に苦慮しておりますが、新しい日程・12月18日(水)に変更となったことを、先にお送りした芳名簿などの方々に再度お知らせする必要があります。10月6日に行われたOMC映像フェスティバル入場者には、変更された新しいプログラムをお持ち帰り頂きましたが、当日いらっしゃらなかった方々には、ハガキで変更の通知を致します。いずれにしても印刷代、郵便料金の値上がりの時だけに痛いところですよ。

### 全国ビデオ映像コンテスト受賞作品上映会の意義

アマチュア映像作家の全国コンテストは、8ミリ時代には富士フィルムや、キャノン、ニコン、東海テレビ、玄光社、広島国際コン等、たくさんあって、応募して受賞することで、一つの自信が付いたものです。第三者に作品が評価されることは、大変うれしい事でした。平成から令和時代になって全国コンテストは激減し、今や東京アマチュア映像連盟主催、日本アマチュア映像作家連盟後援で行われている「全国ビデオ映像コンテスト」はアマチュア映像人にとって、一つの登竜門、或いは目標として得難い存在になっています。

ところが、東京アマチュア映像連盟主催だけに、応募がほぼ関東に片寄り、全国コンとは言え、地方への拡がりに課題がありました。そこで、出てきた案が、主催を日本アマチュア映像作家連盟とし、東京アマチュア映像連盟を後援とし、大阪でも発表会(ここでは大阪アマチュア映像連盟後援)を開き、関心を持ってもらうことにしたらどうか、という事になった次第です。

その分経費増となるのは痛いところですが、一度やってみて結果を見たいと思います。

### 受賞作品大阪上映プログラム

- ・チャレンジ賞；金内市郎「自然の厳しさに挑む熱気球」
- ・ヤング賞；膝龍一「VITTORA SUPERORE」
- ・入選；吉田美恵子「西田家のお白石曳き」
- ・入賞；一岡 秀樹「スマホ依存」
- ・入賞；住田 勝「あじさいに魅せられて～住職 50 年の想い～」
- ・入賞；永井美千代「弟にささぐ ～いも一れ奄美大島～」
- ・入賞；廣瀬 悦二「石田三成の実像を追って」
- ・入賞；的野 愛子「今を感謝して」
- ・入賞；吉田 瑞穂「九十の手習い」
- ・入賞；岡田 忠治「つく丁 54 歳キックボクシングに挑む」
- ・入賞；斎藤 正一「満州の思い出今も鮮やかに」
- ・優秀賞；谷 弘子「魅せられた山」
- ・優秀賞；蒲 宏樹「リバーサイドのいのちたち」
- ・グランプリ；関 幸徳「三爺 古希からの挑戦」



以上

## 9月例会レポート

秋分の日も過ぎたというのに、日中はまだ残暑が残っていて暑い。それでも朝夕は少し涼しさを感じるようになってきたようだ。例会日の28日は終日曇りの日。能登半島は大地震の跡がまだ片付かないまゝ集中豪雨で又大被害だとか。南海トラフによる地震もささやかれるが、何とか天災だけは勘弁してほしいものだ。

本日は15名の会員諸氏が集まり、12本の作品が上映され、充実した例会となった。いつも場所探しに苦労している喫茶店グループも、今回は例会場地下で何とか場所を確保して二次会を楽しんだ。

その点、居酒屋組は「百番」と決まっていて場所探しの苦労はなさそうだ。いずれにしても例会を楽しみ、二次会も楽しい、同じ趣味仲間として何と幸せな事か。OMCバンザイ！！

■ 運営担当：司会 上総、書記 高瀬、YouTube 関係 高田、映写 坪井、中川  
メモリー記録 江村、受付・照明 森下、大久保の各氏

■ 出席者：岩井、植村、江村、大久保、岡本、上総、合原、高瀬、高田、坪井、  
中川、道下、宮崎、森下、山本の15氏、河口氏は作品のみ

■ 上映作品（今月の書記は高瀬）

### 1. 大凧 湖東に舞う 河口禮志 9分

（作者コメント）

かつて大阪に住んでいた時のOMC撮影会で、東近江市 五個荘・八日市に行った時の映像のうち、八日市の大凧まつりを取り上げました。祭りは小・中・大の凧揚げがありましたが、大凧揚げのみに焦点を絞り編集しました。

（書記コメント）

大凧を載せたトラックが凧揚げ会場に到着。大凧は川原に運んで広げられ、組み立てられていく。凧の準備から、空に舞う大凧、そして最後の落下まで詳しく丁寧に描かれている。コメントの参考として書かれているように、ノンナレで、現場音を活かし絵を見れば筋の運びが分かる作品に仕上げられているが、江戸時代から続く祭りの由来とか歴史、地域との関わりなども紹介していただければ、より深みのある作品になるように思います。なお2015年に大凧の落下事故が起き、以後、祭りは中止されている。



### 2. 南国の波瀾 高田幸夫 8分

（作者コメント）

毎年、日本の寒い時季にあちらこちら避寒旅行しています。オーストラリア・ゴールドコーストを中心に数ヶ国で撮った荒々しい豪快な波の映像を作品にしてみました。

（書記コメント）

映画のトップシーンを思わす上空からのゴールドコーストの雄大な海岸に打ち寄せる波、そしてサーファーを運ぶ大きな波の映像に引き込まれる。夜の泡立つ波、飛び交う鳥の群れは神秘的。サイクロンで荒れる海、南太平洋の岸壁に打ち寄せ砕ける波…まさに豪快な波の映像を重ね、迫力ある作品にまとめられている。ただ後半の南太平洋で岩に打ち寄せ、砕ける波の後、静かな



海で憩う人や海中で魚に戯れるシーンがあるが、息継ぎなのでしょう、やや趣の異なる映像が挟まれているような感じがします。

### 3. 北海道大学を訪ねて 山本正夢 9分 (作者コメント)

今年夏むすこ夫婦が北大の夏季授業をするため来日し、校内を案内してもらいました。



#### (書記コメント)

最初は北海道大学を訪れ、歴史的な施設や銅像など校内を見て回られた記録ビデオかなと思って見ていたが、途中からデンマークに住む息子さん家族が登場。北大のサマースクールの講師として来日されているとかで、お孫さん二人と連れ立っての校内探訪で、ホームムービーが入り混じったような展開。小さな子供さんたちは校内見学は少々疲れ気味な様子だったが、家に帰ると笑顔にあふれ、楽しそうな表情が印象的な作品です。

### 4. 俊徳丸伝説を追う 江村一郎 8分 (作者コメント)

舞楽の修行で高安から四天王寺に通っていた道が俊徳街道と呼ばれる。俊徳丸は河内高安の長者の息子で、継母のいじめによって失明し落ちぶれて家を追われて四天王寺境内で物乞いをする身となり果てます。謡曲「弱法師」浄瑠璃「摂州合邦ヶ辻」などあらゆる芸能の題材となった俊徳丸伝説。この作品では河内音頭「俊徳丸」をバックに道案内していきます。



#### (書記コメント)

江村さんならではの映像表現で俊徳街道の街角の風景や史跡、お地蔵さんなど、俊徳丸伝説を追い、さらに「俊徳丸」の話を歌った河内音頭をバックに描かれている。特にラストの夕焼けの寺のシーンは印象的で見応えのある作品となっている。ただ俊徳丸が舞楽の修行に通った高安から四天王寺への道として街道を説明されているので、高安から四天王寺に向かって歩かれているものと思っていたが、終り近くで高安駅が出てきて、逆コースだったことが分かりました。俊徳街道の最初に戻ると、確かに四天王寺の映像が1カットあるが、これがスタートであるのを見落としていたようです。

### 5. 大台ヶ原紀行 合原一夫 11分 (作者コメント)

1984年(昭和59年)10月、当時、私は寝屋川市の会社の社宅に入っていて、寝屋川8ミリクラブに入会していた。その時の撮影会(一泊)作品。千米を越す山には到底私は登れないが、バスで頂上近くまで行ける観光道路が開通していて、私の登山が実現した思い出深い撮影会だった。伊勢湾台風で倒れた木や立枯れの林、紅葉、速く動く雲、大台ヶ原は印象的な山だった。



#### (書記コメント)

奈良県と三重県の県境に聳える大台ヶ原に行かれ、8ミリフィルムで撮られた作品。大台ヶ原山

は標高 1695 メートルで、日本百名山の一つに挙げられている。初心者コースはハイキング気分で歩けるが、紀伊山地の雄大な眺望や原生林の残る風景は高い山でしか味わえない醍醐味がある。霧や鹿などにも出会い、自然の風景を満喫されている映像は 8 ミリフィルムの特撮作品だが、色褪せていない。山の自然の営みに寄せる思いや怪物を封じ込めた牛石伝説などをナレーションで語られていて、作品をより印象深いものになっている。私もかつて京都のカメラ仲間数人とマイクロバスで撮影に訪れたことがあります。牛石から数分の大台ヶ原山の最高峰、日出ヶ岳を望む絶景スポット、断崖絶壁の大蛇岨（だいじゃぐら）が思い出深く残っています。

**6. 七川祭り**                      **上総秀隆**                      **5分**  
**(書記コメント)**

5月に行われた滋賀県高島市の撮影会で、城下町の近江高島・乙女が池、新旭の生水の郷、同じく七川祭りとして3つのスポットに分け、それぞれ作品にまとめられている。今回の七川祭りは奴振りの道中から、大荒比古神社での神事など丁寧に描写されている。特に二人の掛け合いで語られるナレーションはユーモアがあり、面白い試みである。祭りのクライマックス、流鏝馬は撮影ポジションに無理があったようで、撮り切れていないのが惜しい。



**7 楠ヶ丘 敬老祝賀会**                      **中川良三**                      **14分**  
**(作者コメント)**

令和6年敬老祝賀会、初めての吹奏楽「クラリネットアンサンブル」を企画、皆さんが楽しんでおられる姿をまとめて見ました。若い方の演奏は活気があり見応えがありました。皆さん、育児などお忙しい中でも練習の成果を披露されていました。



**(書記コメント)**

敬老祝賀会でのクラリネット演奏の様子が撮影されている。作者本人は傍らの席にずっと立っておられるので、360度カメラを据え置きで撮られているものと思われる。演奏者の場面に観客のカットを小さく、ピクチャーインピクチャーで挿入されている。斬新な試みですが、挿入位置が画面下中央で、視覚的に不安定な感じがします。挿入位置や大きさを変えれば、安定するかも知れません。逆に観客を大きくして、演奏者を小さく入れるなど変化を持たせればどうなるか、試してみるのも面白いかもしれません。

**8. 若狭湾 灯籠流し&花火大会**                      **高瀬辰雄**                      **8分**  
**(作者・書記コメント)**

2023年の宮津湾、数年前の敦賀湾での灯籠流しと花火大会をまとめました。宮津湾は船に乗っての撮影、敦賀湾は台風接近で、どちらも灯籠流しは思ったように撮影できませんでした。特に船に乗っての花火撮影は船のエンジン音が大きく、花火の音はほとんど収録できませんでした。撮影年の違う2カ所のイベントを結び付けたため、つながりや時間経過が分かりにくいという意見がありました。



## 9. 近江路に蹄の音が冴えて

岡本至弘

7分

(作者コメント)

OMC撮影会作品「七川祭」を改作しました。ノンナレの作品にナレーションを入れてみました。

(書記コメント)

撮影会作品のタイトルを変更し改作された。和歌をやっておられるようで、一味違ったタイトルを付けられている。映像の流れは撮影会作品とほとんど変わらないようだが、流鏝馬のシーンは撮影ポジションも良く、馬上からの的を射るシーンをうまくとらえられている。またナレーションを加えられたことで、より祭りの内容が分かりやすくなっているが、ラストでナレーションが続いているのに終の文字が出るのは修正した方がいいという指摘もあった。



## 10. 岐阜郡上八幡 水と風と郡上踊り 道下敏行 6分

(作者コメント)

郡上八幡の水と風と郡上踊りと題して撮影した。YouTube 投稿より時間を長めに設定、昔の日本の夏、郡上八幡に訪れた人にもう一度、あの時を思い出してもらえる作品にした。

(書記コメント)

1シーン、1シーンの構図、アングルが申し分なく、テンポの良いカットつなぎで、清らかな水の流れ、さわやかな川風が吹く郡上八幡を紹介、そして後半は郡上踊りへと情緒あふれる作品に仕上げられている。もともと YouTube への投稿を意図して制作されたようで、踊っている人のアップがほしいという意見もありますが、YouTube ですべてのユーザーが視聴できる「公開」として投稿する場合、肖像権の問題があり、気を遣います。作者名はクレジットタイトルの終りに右下に creator として氏名をアルファベットで記されているが、見慣れない表記なので見落される心配があります。



## 11. つばめのねぐら入り 道下敏行 4分

(作者コメント)

世界遺産、平城宮跡をねぐらにするつばめの大群を撮影した。雷雲迫る中のねぐら入り、夕空、平城宮跡の照明を印象付けた。

(書記コメント)

夕刻、ねぐらに戻るつばめの大群を撮影されている。稲光のする空、照明で輝く平城宮跡に舞うつばめの群れが圧巻で迫力のある作品になっている。やや同じ構図のシーンが繰り返されるのが気になります。



## 12. 東大阪 夏 道下敏行 2分

(作者コメント)

東大阪の夏と題して恩智川治水緑地、花園中央公園、枚岡展望台からの大阪の風景を撮影した。

(書記コメント)

「東大阪の夏」をテーマに、セピア色の夕暮れの風景と生息する鳥や動物が印象的な好短編。

